

西脇市立西脇病院 経営強化プラン評価

令和6年8月

I 項目別推進状況に係る評価（令和5年度実績） 【委員評価】◎：際立った成果 ○：概ね計画どおり △：要努力

事 項	取組項目	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	自己評価
1 基本事項	(1) 今後果たすべき役割	○	○	◎	○	○	○	B
	(2) 一般会計繰出金	◎	◎	◎	◎	◎	△	A
	(3) 病院と地域との連携	◎	◎	◎	◎	◎	○	A
2 医療の質の向上	(1) がん治療の医療体制の構築	△	△	○	○	△	△	C
	(2) 脳卒中の病病連携体制の構築	△	△	○	○	△	△	C
	(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築	○	◎	○	○	◎	○	B
	(4) 資格等取得による人材育成	△	△	△	○	△	△	C
3 経営資源の強化	(1) 入院収益の確保	○	○	○	○	○	○	B
	(2) 外来収益の確保	○	○	○	○	○	○	B
	(3) その他収益の確保	○	○	○	○	○	○	B
	(4) 医療技術部門の取組	○	◎	○	○	○	○	B
	(5) 地域連携への取組	◎	◎	◎	◎	◎	○	A
	(6) その他の取組	◎	◎	◎	◎	◎	△	A
4 職員の確保と意欲の向上	(1) 医師確保	○	○	◎	○	○	△	B
	(2) 看護師確保	△	△	△	○	△	△	C
	(3) 職員の意欲向上	◎	◎	◎	◎	◎	○	A
5 再編・ネットワーク化	(1) 再編・ネットワーク化	◎	◎	◎	◎	◎	○	A

【自己評価】 A：実績>目標 B：目標>実績>前年 C：目標・前年>実績

Ⅱ 評価等のコメント

委員1	<p>今後、更なる入院・外来患者数確保の努力が難しいと思いますが、必要かと思えます。 リハビリ病棟の拡充は、将来的に今後の地域ニーズに見合う戦略かと思えます。</p>
委員2	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の対目標値は5ポイント程度低いですが、多くの病院で同様の傾向であり、外部環境の影響も大きいと見るべきです。計画通りの稼働率であれば黒字であり、コロナ対応期間中に固定費を増やさず対応してきたことは高く評価できます。 ・人勤による人件費増は大きな課題であり、診療報酬改定によりどの程度実質的な影響を受けるか試算のうえ対応策を検討していただきたいです。病院側でできることを明確にしたうえで、病院の努力を超える分は、市の支援が必要だと思われれます。 ・10対1看護により入院単価が下がる可能性が高いと思えます。稼働病床数を増やすとともに、10対1看護を前提とした患者の受け入れ、病床稼働率向上をはかることで、総額としての収益確保に努めていただきたいです。 ・地域連携を強化されてきており、緩和ケア、リハ、糖尿病治療、検診などの取組は、10対1看護との親和性が高い部分もあり、引き続き注力いただきたいと思えます。
委員3	<p>外来収益の確保は大切ですが、増は期待できないと考えます。 入院等で頑張っていたください。 良くやっていたいただいていると思えます。</p>
委員4	<p>コロナ補助金がなくなり、赤字になる病院が多いと聞き、安心しました。看護師さんが不足する中、病院稼働率を上げるため、大変、尽力されていると感じました。会議で感じる、岩井先生を中心にした、温かい空気が、病院スタッフの意欲の向上にも繋がっているのではと思いました。10対1看護に対する不安がありましたが、院長先生のお話を伺い、出来るようにやるという、今いる看護師さんを守っていく姿勢に安堵しました。働きやすさが広がれば、看護師さんの増員に必ず繋がると信じています。</p>
委員5	<p>外部の病院との比較を数値化で知ることが、西脇病院はとても努力された評価結果と思えました。 経営という視点から初めて参加させていただき、地域との連携が経営にもつながっていることを知りました。 委員の方々の様々な視点からの意見を聞かせていただき、とても勉強になりました。地域医療に携わる立場から、今後も貴院とより良い地域医療体制づくりを図っていけるように努力していきたいと思えました。</p>
委員6	<p>常勤医師のいない診療科や看護師の人材不足による休床など、人員を確保することで収益改善が見込まれるなど課題は見えてきているので、経営強化プランにおける目標値をクリアできるように経営資源の確保・育成に努めていただきたいと思えます。</p>